

KOJI MURAYAMA

足元にある「砂」は普段気にすることのないものである。しかし、その砂は地球が宇宙の歴史の中で、無数の核融合で作られた元素によるものだ。作家は観察、実験を繰り返して、新たにガラスを制作する。そのガラスは様々な土地の記憶が融解され作られたもので、宇宙、地球の誕生や変化を因果に様々な色彩、現象を生み出す。

村山耕二

EARTH GLASS「大地を融かして」

大地を融合する・EARTH GLASS。これは各地域の地質特性を生かし、その土壌をガラス化し表現してゆく活動である。地域的特性やコンセプト・地質等から適合する箇所を選び、その地の土壌を最大限使用することで約70-80%を原料とするガラスを生成できる。それぞれの砂に含まれる地質特性は、土壌のガラス化に色彩を与え、大地の歴史を内包した固有の表現を生み出す。これは、その地を示す新たな指標を持つ素材であり、地域の文化をリサーチする事と併せた表現の可能性を予感させる。

Geological Glass

Geological Glassは、砂よりも大きな粒子である岩石を扱った作品である。地球の活動において、地表のプレートが地下へと沈み込みマグマに触れ溶け込んでいく、この地下で行なわれている熱による「崩壊の変成」がコンセプトになっている。岩石は1250-1300度の熱に触れさせることでガスを出しながら崩壊する。岩石が変容していく様子は一方で、土地の記憶から、地球の成り立ちや深遠な宇宙の創生を想起させる。岩石が放出したガスは、ガラスに封入することで可視化され、岩石の中にある全てのマテリアルが消えることなく、その場で崩壊された様子がわかる。

Volcano Glass

Volcano Glassは、砂(=EARTH GLASS)・岩石(=Geological Glass)を経て地表の噴出するマグマを表現した作品。ガラス素材の制作において、金属は不純物として取り除かなければならない物質であるが、再度、高熱で双方を融合させ、表面に皮膜を形成させる事で、内部と表層の異なる物質を制作する。表層が金属であるため、時間による変化が少ないガラスに酸化崩壊を伴う時間にまつわる表現が可能になった。